

※本リリースは国土交通記者会・交通運輸記者会に配布しております。

2021年1月29日
理事長 清野智

2020年度「国際会議誘致・開催貢献賞」の受賞会議が決定！

日本政府観光局（JNTO）では、2020年度「国際会議誘致・開催貢献賞」に、「国際会議 誘致の部」3件、「国際会議 開催の部」8件（大規模会議4件、中小規模会議4件）、特別賞2件の国際会議を選出しました。今年度は28件の応募があり、SDGsを意識した参加者交流プログラムや、地元企業・産業と学会の連携により地域産業の活性化を図る取り組みなどの特徴が多くみられました。

JNTOでは引き続き国際会議の誘致、開催を支援していきます。

国際会議誘致・開催貢献賞とは：

【目的】 国際会議の開催は、国内各地へ外国人参加者の来訪を推進するのみならず、若手の育成、地元産業と学会を連携させることによる地域の活性化や経済発展に繋がる。貢献賞では、「先進性」、「独創性」を含んだ企画力や「地域貢献等を含んだレガシー」に優れている会議など、今後のベストプラクティスとなる国際会議の優れた事例を表彰し、会議主催者や一般の方に理解促進を図ることを目的としている。当事業は2008年より実施しており、本年で13年目を迎える。



【対象】 ・参加者総数が50名以上で、かつ参加者の国籍が日本を含む3か国以上で開催期間が1日以上
・2019年4月1日～2020年3月31日に誘致決定または開催が終了した国際会議

【表彰部門】 下記部門を表彰します。

- ・国際会議 誘致の部
 - ・国際会議 開催の部：大規模会議：参加者数が1,000名以上 / 中小規模会議：参加者数が1,000名未満
- ※受賞会議は、国際会議に関する有識者で構成される審査委員会での審査を経て決定しています。今年度は各部門で選出された案件以外に、誘致活動や会議運営等において特色がある会議が特別賞に選出されました。

■受賞会議 ※掲載は開催年月日順

【国際会議 誘致の部】

(※) 開催年については今後変更となる場合があります。

会議名	開催予定年 ^(※) 、開催都市
第14回アジア交通学会国際会議	2021年、広島県広島市
ワン・ヤング・ワールド サミット 2022	2022年、東京都
第8回FIP世界薬学会議	2023年、神奈川県横浜市



ワン・ヤング・ワールド サミット 2022（視察の様子）



第8回FIP世界薬学会議

【国際会議 開催の部（大規模会議）】

会議名	開催都市
第5回世界パーキンソン病コンgres	京都府京都市
第39回地球科学・リモートセンシング国際シンポジウム2019	神奈川県横浜市
第25回 ICOM（国際博物館会議）京都大会2019	京都府京都市
第17回国際義肢装具協会世界大会	兵庫県神戸市



第5回
世界パーキンソン病コンgres



第39回
地球科学・リモートセンシング
国際シンポジウム2019



第25回
ICOM（国際博物館会議）
京都大会2019
（周辺地域へのイクスカーション）



第17回
国際義肢装具協会世界大会

【国際会議 開催の部（中小規模会議）】

会議名	開催都市
第5回貨幣革新・地域通貨国際会議 飛騨高山大会	岐阜県高山市
第20回システムバイオロジー国際会議	沖縄県恩納村
第26回 TAFISA ワールドコンgres 2019 東京	東京都千代田区
International Monorail Association Annual Conference - Monorailex 2019 -	千葉県千葉市



第5回貨幣革新・地域通貨
国際会議 飛騨高山大会



第20回システムバイオロジー
国際会議



第26回 TAFISA
ワールドコンgres 2019 東京
（生涯スポーツイベントとして
運動会開催）



Monorailex 2019
（モノレール内でのイベント）

【特別賞】

会議名	開催都市
第20回アジア・太平洋YMCA大会	静岡県御殿場市
筑波会議2019	茨城県つくば市

【お問い合わせ先】 MICE プロモーション部 誘致推進グループ

担当：清水・鳥巢・斉藤 TEL：03-5369-6015

E-MAIL：convention@jnto.go.jp

※緊急事態宣言期間中につき、お問い合わせはメールでお願いいたします。

別紙

2020 年度「国際会議誘致・開催貢献賞」受賞会議

国際会議 誘致の部 3 件

※開催年月日順

会議名	(和名) 第 14 回アジア交通学会国際会議 (英文) The 14th International Conference of EASTS		
主催者	EASTS-Japan (アジア交通学会)	開催都市	広島県広島市
開催期間	2021 年 9 月 12 日～9 月 15 日 (4 日間)	競合	テジョン、クアラルンプール
参加予定人数 (外国人参加者数)	700 名 (400 名)	参加予定国・地域数	20 カ国・地域
受賞理由	広島電鉄と連携して MaaS (Mobility as a Service) を実践し参加者に体験してもらうことで、会議テーマの実践を取り入れ、会議テーマと開催地の持つ資源を見事にマッチングさせる工夫をした好事例である。		

会議名	(和名) ワン・ヤング・ワールド サミット 2022 (英文) One Young World Summit 2022		
主催者	一般社団法人ワン・ヤング・ワールド・ ジャパン・コミッティ	開催都市	東京都
開催期間	2022 年 5 月 23 日～5 月 26 日 (4 日間)	競合	杭州、京都、長崎
参加予定人数 (外国人参加者数)	2,000 名 (1,820 名)	参加予定国・地域数	194 カ国・地域
受賞理由	SDGs を始め、世界的な課題解決のために次世代リーダーが集い議論を行う会議。誘致の際は自治体・行政のみならず企業がイニシアチブを取るなどオールジャパン体制で取り組んだことが、ユニークで新しい誘致活動の例として評価された。		

会議名	(和名) 第 8 回 FIP 世界薬学会議 (英文) 8th FIP Pharmaceutical Sciences World Congress (PSWC2023)		
主催者	International Pharmaceutical Federation - FIP	開催都市	神奈川県横浜市
開催期間	2023 年 5 月 28 日～5 月 31 日 (4 日間)	競合	ソウル、南京、南アフリカ、 イラン、インド
参加予定人数 (外国人参加者数)	1,200 名 (450 名)	参加予定国・地域数	50 カ国・地域
受賞理由	開催地のコンベンションビューローが国際本部とネットワークを構築し、意向に沿った提案を行い、誘致に必要なプロセスをきちんと踏んだ優良事例。また、予算面の指摘を受けた際には国内関係者と粘り強く交渉を行い適切に対応した点など、国際本部主導で行う会議誘致の好事例として評価された。		

国際会議 開催の部（大規模） 4 件

※開催年月日順

会議名	(和名) 第 5 回世界パーキンソン病コンgres		
	(英文) 5th World Parkinson Congress (WPC 2019)		
開催期間	2019 年 6 月 4 日～6 月 7 日 (4 日間)	開催都市	京都府京都市
主催者	The World Parkinson Coalition®、第 5 回世界パーキンソン病コンgres国内組織委員会		
参加人数 (外国人参加者数)	5,277 名 (2,777 名)	参加国・地域数	61 カ国・地域
受賞理由	最先端の研究発表だけでなく患者及び家族が参加する会議であるため、演出・会場設営に工夫を凝らしている。交流型プログラムやアートウォークという芸術との組み合わせ等の多様なプログラムは、他の分野の会議開催にも応用可能な内容となっている。また、開催会場が PCO と直接連携している点も注目される。		

会議名	(和名) 第 39 回地球科学・リモートセンシング国際シンポジウム 2019		
	(英文) 2019 IEEE International Geoscience and Remote Sensing Symposium		
開催期間	2019 年 7 月 28 日～8 月 2 日 (6 日間)	開催都市	神奈川県横浜市
主催者	米国電気電子学会 地球科学及びリモートセンシング部会、日本学術会議		
参加人数 (外国人参加者数)	2,814 名 (2,525 名)	参加国・地域数	56 カ国・地域
受賞理由	会場であるパシフィコ横浜が、野毛日本食ツアー等を企画・実施した点は、他都市でも参考となる内容である。また、横浜市と共催し、次世代育成事業として小中学生向けのプログラムを実施する等の点は市民参加型の好事例である。		

会議名	(和名) 第 25 回 ICOM (国際博物館会議) 京都大会 2019		
	(英文) ICOM Kyoto 2019 - 25th ICOM General Conference		
開催期間	2019 年 9 月 1 日～9 月 7 日 (7 日間)	開催都市	京都府京都市
主催者	ICOM (国際博物館会議)、ICOM 日本委員会、ICOM 京都 2019 組織委員会、公益財団法人日本博物館協会 共同主催 日本学術会議		
参加人数 (外国人参加者数)	4,590 名 (2,724 名)	参加国・地域数	120 カ国・地域
受賞理由	参加者向けに、京都をめぐる 50 以上のエクスカージョンを用意したほか、京都市以外の周辺地域を巡るツアーも実施し、広域に経済波及効果をもたらした点や、ユニークベニューの活用が高く評価された。また、途上国からの参加者支援、コストを補うファンドレイジング、大会オリジナルの交通パスやアプリなど随所に工夫がみられる会議である。		

会議名	(和名) 第 17 回国際義肢装具協会世界大会		
	(英文) The 17th World Congress of the International Society for Prosthetics and Orthotics		
開催期間	2019 年 10 月 5 日～10 月 8 日 (4 日間)	開催都市	兵庫県神戸市
主催者	国際義肢装具協会日本支部		
参加人数 (外国人参加者数)	4,596 名 (1,721 名)	参加国・地域数	94 カ国・地域
受賞理由	市民が参加しやすい学生割引導入や見本市の併催、地元の名物食材を生かした屋台の設置、ロボットなど最先端技術の活用と幅広い工夫がなされている。コンベンション都市・神戸のノウハウが詰め込まれた好事例である。		

国際会議 開催の部（中・小規模） 4件

※開催年月日順

会議名	(和名) 第5回貨幣革新・地域通貨国際会議 飛騨高山大会		
	(英文) 5th Biennial RAMICS International Congress in Japan (RAMICS 2019 Hida-Takayama)		
開催期間	2019年9月11日～9月15日(5日間)	開催都市	岐阜県高山市
主催者	第5回貨幣革新・地域通貨国際会議 飛騨高山大会組織委員会		
参加人数(外国人参加者数)	347名(51名)	参加国・地域数	21カ国・地域
受賞理由	海外で観光地として知名度が高い高山市の長年のインバウンド受け入れノウハウの積み重ねと、地元住民の国際交流への理解が結実し、地域内で連携して取り組んだ好事例。会期中市内で使える地域通貨を発行する取り組みは会議テーマを实践するもので、ユニークである。		

会議名	(和名) 第20回システムバイオロジー国際会議		
	(英文) The 20th International Conference on Systems Biology – ICSB2019		
開催期間	2019年11月1日～11月5日(5日間)	開催都市	沖縄県恩納村
主催者	ICSB2019 組織委員会		
参加人数(外国人参加者数)	442名(208名)	参加国・地域数	26カ国・地域
受賞理由	沖縄科学技術大学院大学(OIST)の学内カンファレンス・ワークショップ・セッションの活躍により誘致が成功。開催時には欧米など遠方から多数の参加者を集めた。シャトルバスを手配する等会場アクセスを向上する工夫を行った点は、他都市の見本となる。		

会議名	(和名) 第26回TAFISAワールドコンGRESS 2019 東京		
	(英文) 26th TAFISA WORLD CONGRESS TOKYO 2019		
開催期間	2019年11月13日～11月16日(4日間)	開催都市	東京都千代田区
主催者	第26回TAFISAワールドコンGRESS 2019 東京組織委員会		
参加人数(外国人参加者数)	638名(288名)	参加国・地域数	78カ国・地域
受賞理由	世界中のスポーツに関わる関係者が、プログラムを通じてスポーツに対する理念や身体活動を推進するための会議。オリンピック・パラリンピック開催と関連させ、日本国内の関連機関と連携し参加者を増やす工夫がなされている。生涯スポーツイベントの一環として運動会を実施し地域住民との交流を図る等、ソーシャルプログラムについても他の地域で応用可能な模範事例である。		

会議名	(和名) —		
	(英文) International Monorail Association Annual Conference -Monorailex 2019-		
開催期間	2019年11月24日～11月27日(4日間)	開催都市	千葉県千葉市
主催者	国際モレール協会 (International Monorail Association)		
参加人数(外国人参加者数)	52名(51名)	参加国・地域数	10カ国・地域
受賞理由	世界最長の懸垂型モレールを持つ千葉市の特色が発揮された会議。モレールをユニークベニューとして使ったレセプション、全国のモレールでエクスカーションツアーを展開する等、会議の特徴を活かしたプログラムは参加者満足度も高く、地域らしい工夫を凝らした中・小規模会議の好事例である。		

特別賞 2件

※開催年月日順

会議名	(和名) 第20回アジア・太平洋 YMCA 大会		
	(英文) Asia and Pacific Alliance of YMCAs 20th General Assembly		
開催期間	2019年9月2日～9月6日(5日間)	開催都市	静岡県御殿場市
主催者	公益財団法人 日本 YMCA 同盟		
参加人数(外国人参加者数)	377名(247名)	参加国・地域数	22カ国・地域
受賞理由	地元の豊富な産業や富士山の麓に抱かれた豊かな自然環境を活かしたエクスカージョンを実施することで、参加者の満足度を高められた。ペーパーレス化、ウォーターボトルの持参、大会バナー等のプロジェクターによる投影等 SDGs に配慮した取り組みが評価され特別賞となった。		

会議名	(和名) 筑波会議 2019		
	(英文) Tsukuba Conference 2019		
開催期間	2019年10月2日～10月4日(3日間)	開催都市	茨城県つくば市
主催者	筑波会議委員会		
参加人数(外国人参加者数)	1,500名(344名)	参加国・地域数	65カ国・地域
受賞理由	世界の若手研究者等が参集し「社会と科学技術」に関する様々な課題について討議する会議。2019年につくば市内の大学・行政・企業43機関が連携し、若手研究者の育成を目的に新たに創出された点や、企業等からの協賛を増やすためのPR活動も工夫されており、学研都市であるつくば市らしい先進事例として評価された。		